

入学式式辞

新入生の皆さん、あらためましてご入学おめでとうございます。今日の入学式には、皆さんの晴れの姿をご覧いただくため、多摩市教育委員会から山本勝敏参事にお越しいただきました。いつも皆さんの活躍を応援してくれる方です。学校への応援ありがとうございます。

さて、「中学校体験」の時にはこの体育館で、小学校の先生の言うことを聞いて、感染症対策をしっかり取って、中学校の入学式に来るんだぞと言いました。まさにその通りに皆さんは感染症対策をまじめにやり、今ここに元気に入学式に参加することができました。小学校の最上級生として頑張った実績をもって入学式に臨んできた皆さんは、これからの中学校生活においてもものすごく活躍してくれるだろうと期待をしています。

中学校の授業は小学校と違い教科ごとに先生が変わり、その先生の個性で授業が進められていきます。まずはそのことに慣れていかなければなりません。さらに授業の中で、本当にこの考えでいいのだろうか。他に考えはないのだろうか。お互いに意見交換して自分の考えを確かめてみたり、修正したり、さらに考えを深めていくという作業が重要視されます。それはこれから先、社会に出たときにどうしたらいいのかわからないときに役立つ考え方となります。教科ごとのいろいろな学び方、考え方を学習して自分の考えや思いを広げてほしいと思います。さらに「7つの習慣」という勉強を取り入れて、これから先の予測困難な時代になるといわれている中でも生徒のみんな、ご家族ともに豊かな人生を歩んでいってほしいという願いを込めた学習をします。校内では「リーダーインミー」というテキストを使用して学んでいきます。その中にリーダーシップを持つという目標があります。とかく、リーダーシップというのはクラスの中で、みんなを引っ張る人がいて、その人がリーダーシップを発揮したというような使い方をすることが多いと思いますが、多摩永山中では自分自身の中にリーダーシップをもち、そして、自分のこれから進むべき目標に向かうためにその力を発揮していくという考え方をします。将来こんな風になりたいと思ったときにそこに向かって努力していく途中、「も一だめだ」「できないや」とあきらめかけてしまうことがよくあります。そんな負けそうになったときに、「イヤ少し休んだらまた頑張ろう」と自分をコントロールすることができるような力と考え方を学びます。

皆さんは、これから先生たちよりずっと先の未来を生きていくわけですが、その中でもたくましく生き抜いていってほしいと願っています。明日から皆さんの元気のいい挨拶と勉強する姿を楽しみに見ていきます。頑張ってください。

保護者の皆さま、お子様のご入学おめでとうございます。入学したといってもまだまだコロナ禍が収束したわけではありませんので、これからの学校生活に関して、心配なことが多いのではないかと思います。コロナ禍の中でまだ制約はありますが、我々学校職員も昨年度1年間で学び培ったことで、感染対策を継続しながら、中止にしていたものを実施することができるような取組をしていきたいと考えています。ただ、人が学校に多く入る場合、感染症対策に関しては教員だけではどうしても手が足りない場面がでてくるかもしれません。そのような時は保護者の皆様のご協力をいただきながら実施するという考えも考えています。しかし、教室が密になるような実施に関しては避けなければなりません。運動会や作品展、合唱コンクールなどは、対策を考えて実施する方向で考えていきたいと思っています。一年生の移動教室も実施の方向で今取り組んでいます。これからの中学校での3年間、色々なことがあるかと思いますが、卒業する時は今よりも数段、成長しています。ぜひ、その時のお子さまの姿を楽しみにしてもらいたいと思います。ではこれからの3年間どうぞよろしく願いいたします。